



なんぶ

議会だより

第79号

令和6年3月議会
発行/令和6年5月

第32回 ジャンケンチャンピオン大会 宮前集落賀茂神社にて

- 3月議会審議結果.....2～5
- 議長挨拶・一般質問ダイジェスト.....6
- 一般質問7～17
- あとがき19
- 挑戦者たち20

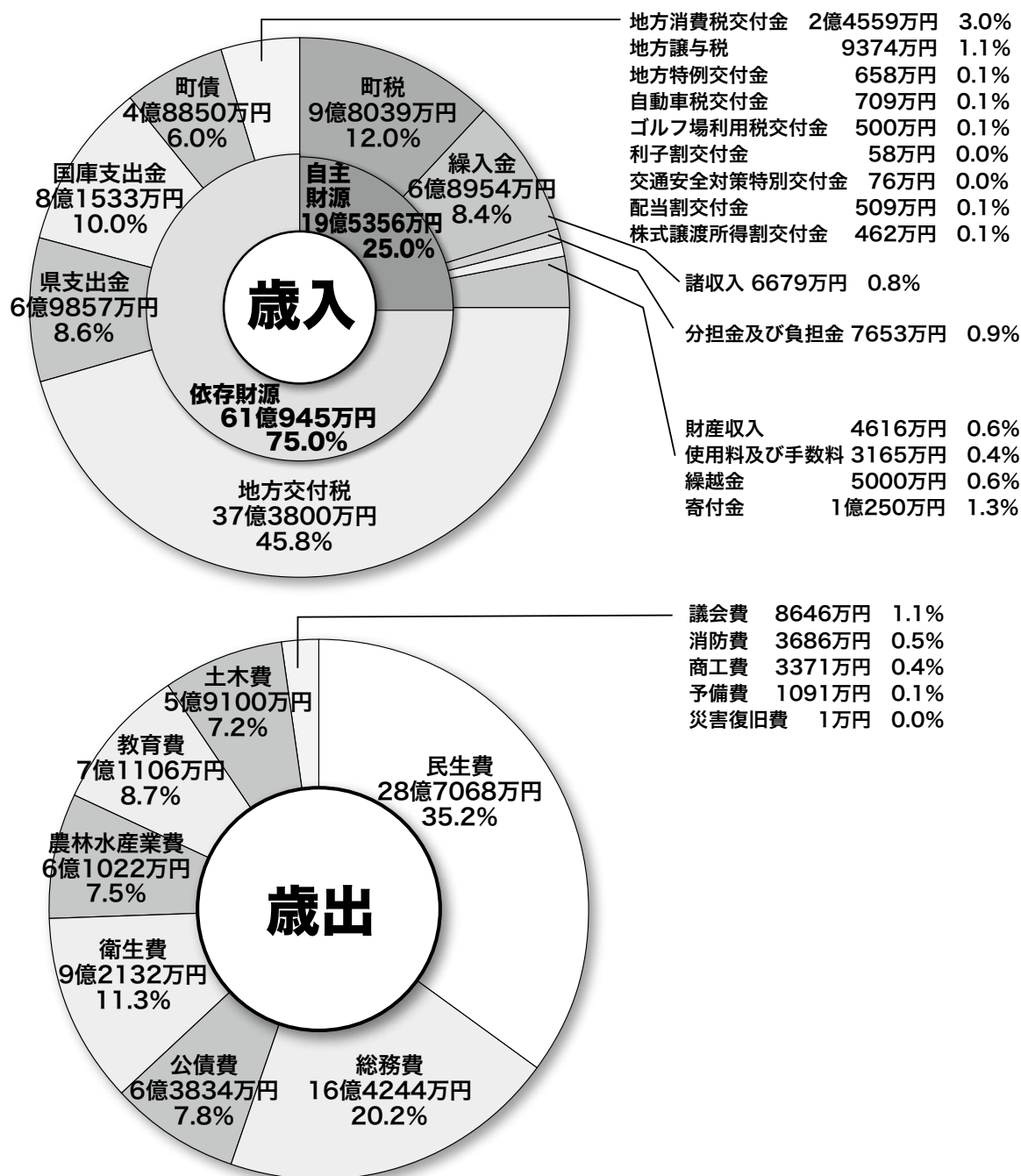
右のQRコードから「議会だより」が見られます。



歳入・歳出 81億5301万円 賛成多数で可決

3月 定例議会

令和6年3月定例議会は6日（水）から28日（木）まで開催された。
令和6年度一般会計・特別会計、条例の制定及び改正、令和5年度補正予算など36議案、陳情の2件、議員による発議案3件が審議された。



なんぶ暮らしの予算を審査

令和6年度
当初予算

一般会計

賛成

10人

反対

3人

討論

反対

- ・保育園について民間移管について見直しを求める。保育園の事業費、交付税の算定などきちんと説明すべき。
- ・ごみ処理計画について可燃ごみ減量化計画でなく、ごみ全体を減らすという計画に見直すべき。
- ・会計年度任用職員の抜本的な処遇改善と正規職員の増を求める

賛成

- ・今回の予算は人口減少を見据えた若者・子育て支援を充実させる事業が入っている。
- ・イネカメムシ補助、個別施設計画、学校トイレの洋式化、少人数学級の全町実施など地域に密着した予算であり賛成する。

令和6年度一般会計の歳入歳出当初予算採決結果（○賛成 ×反対）

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
令和6年度一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

全会一致で可決

- 議案第2号 令和5年度一般会計補正予算
- 議案第3号 令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算
- 議案第4号 令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算
- 議案第5号 令和5年度公共下水道事業特別会計補正予算
- 議案第6号 令和5年度太陽光発電事業特別会計補正予算
- 議案第7号 令和5年度水道事業会計補正予算
- 議案第8号 令和5年度病院事業会計補正予算
- 議案第9号 令和5年度在宅生活支援事業特別会計補正予算
- 議案第10号 南部町情報公開条例の一部改正について
- 議案第12号 町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- 議案第13号 がんばれふるさと寄付条例の一部改正について
- 議案第14号 町営バスの管理運営及び運行に関する条例の一部改正について
- 議案第16号 病院事業の設置に関する条例の一部改正について
- 議案第17号 老人いこいの家条例の廃止について



賛成多数で可決

- 議案第11号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
- 議案第15号 南部町コテージ条例の一部改正について

議案第19号 国民健康保険事業特別会計予算

賛成多数で可決

討論

反対

前年比歳入が8千万円減少しているが、歳出も7千万円減少している。引き下げ可能と考え反対する。

賛成

税率の決定前であり、高い安いの反対する理由が分からない。負担減は誰も望むが財源はどこから捻出するのか。現状を理解し賛成する。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
国民健康保険事業特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

議案第20号 後期高齢者医療特別会計予算

賛成多数で可決

討論

反対

医療費増で年金は下がることで負担が増える法定減免があるが物価高騰で引き下げを図るべきで反対する。

賛成

国保加入者は減少、後期高齢者は増加、全国の予算で現役世代負担は増加している。全世代が支えていくことが必要で賛成する。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
後期高齢者医療特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

議案第23号 令和6年度水道事業会計予算

賛成多数で可決

討論

反対

水道は公共料金だ。電気は国が考えている。水道は町が考えるべきで引き下げるべきで反対する。

賛成

頑張った予算である。令和5年度より令和6年度は1千万円も減少する中、老朽管敷設工事は減額せず5千万円組む予定であり賛成する。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
令和6年度水道事業会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

議案第24号 令和6年度下水道会計予算

賛成多数で可決

討論

反対

今回一本化になった。公営会計の場合、一般財源から繰り入れなくなるということで反対してきたが基準外繰り入れできることがなかった。基準外繰り入れの継続を主張し、反対する。

賛成

今年から一本化となるが、この会計は一般会計から繰り入れないと成り立たない。予算案はキビシイ中であるが黒字であり賛成する。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
令和6年度下水道会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

議案第29号 公の施設の指定管理者について(介護研修施設)

賛成多数で可決

討論

反対

直営に戻すべき。本来の条例に従いJOCAが使用したのは目的外だ。元々介護研修施設であり高齢者、介護者の為に使用すべきであり反対する。

賛成

伯耆の国が管理運営しており、これまでも適切に管理しているので、適正だと考え賛成する。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
公の施設の指定管理者について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

3月定例議会報告

全会一致で可決

- 議案第21号 令和6年度墓苑事業特別会計予算
 議案第22号 太陽光発電事業特別会計予算
 議案第25号 令和6年度院事業会計予算
 議案第26号 令和6年度在宅生活支援事業会計予算
 議案第27号 南部町と鳥取県との間における個人情報に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について
 議案第28号 南部町と鳥取県との間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について
 議案第30号 公の施設の指定管理者の指定について（めぐみの里）
 議案第31号 区域外における公の施設の廃止に関する協議について
 議案第32号 財産の無償貸付について
 議案第33号 町道路線の認定について



追加議案

- 議案第34号 令和5年度一般会計補正予算
 議案第35号 町長の給与の特例に関する条例の制定について

全会一致で可決

- 議案第36号 監査委員の選任について

全員一致で同意

陳情

陳情第9号 「年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書」

民生教育常任委員会審査結果 「不採択」

陳情第1号 「食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める陳情書」

総務経済常任委員会審査結果 「採択」

発議

発議案第1号 「食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書」

発議案第3号 「裏金による腐敗政治を一掃することを求める意見書」

全会一致で可決

発議案第2号 「議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について」

賛成多数で可決

討論

反対

審議会の答申ということだが、世間が物価高にあえぐ中、今報酬を引き上げるべき時なのか、町民の納得が得られないので反対する。

賛成

審議会答申でもあり、この8年間も議員報酬は据え置きとなっている。人事院勧告や審議会答申のタイミングでないで改訂できず賛成する。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

令和6年3月議会を終えて

南部町議会議長 景山 浩

一般会計予算をはじめ各特別会計当初予算、令和5年度補正予算、条例の一部改正など、多数の重要案件が提案、審議された令和6年3月議会が終了しました。今年度の当初予算は南部町の当初予算としては初めて80億円を上回る大型予算となりました。少子高齢化や人口減少、物価高騰や地域経済の停滞など、南部町が抱える多くの問題解決のため有効な施策展開となるよう議会もその執行状況に責任を持たなければならぬと考えています。

さて、本議会では自民党の裏金問題への抗議の意見書を全員一致で可決し、内閣に向けて提出することとしました。この問題は政治に対する関心の低下、政治家への不信感の増大をますます助長する行為であり、許されざる問題です。自民党には襟を正す行動を強く求めるものがあります。

桜の開花とともに今年も春が訪れてきました。難しい時代であるがゆえに、明るい日差しが降り注ぎ、暖かい風がそよぐ季節を町民皆様とともに喜びたいと思います。

令和6年3月定例議会一般質問ダイジェスト

	議員名	発言時間	質問事項	
1	荊尾 芳之	30	1	町長選挙
			2	自然災害策
			3	農業対策
2	板井 隆	30	1	第2期なんぶ総合戦略
			2	全国コミュニティスクール研究大会by南部町
3	米澤 睦雄	30	1	緊急通報システム
			2	フルーツロード構想
4	長束 博信	30	1	人権条例
			2	里地里山と農地施策
5	加藤 学	30	1	会見地区のデイサービス
			2	ひまわり保育園の今後の維持
			3	農業者支援
6	亀尾 共三	30	1	避難所での対応
			2	学校給食費の無償化
7	埴田 光雄	25	1	林業による活性化
8	仲田 司朗	30	1	人口減少対策
			2	地域防災
9	真壁 容子	30	1	保育園運営費
			2	町ごみ処理計画
10	滝山 克己	20	1	保育園の建設場所
			2	町道管理
11	細田 元教	30	1	2040年問題

あなたの声を
町政に問う！



【質問の通告】

一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】

定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

自然災害対策

Q 高齢者の住宅の耐震化補助は

A 低コスト工法による改修補助金を



かたらお よしゆき
荊尾 芳之 議員



愛マップの作成、避難の際には危険な場所の周知、防災訓練など地域で支え合う備えをお願いする。そして公助として町は、

住民への情報発信、備蓄品の準備、防災訓練等で防災意識の高揚を図る、自主防災組織の活動支援などで町内間の連携を図る。

荊尾

本年一月一日、能登半島を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7の地震が発生した。日常から災害への備えが必要であるが、町が行うこと、住民が準備することについて町長に問う。

町長

2000年に鳥取県西部地震を経験した。当時と今の環境は違うが、いづこで発生するか分からない地震に対しては、まず自助として準備すべきことは、住宅の家具倒壊防止対策や自宅内の備蓄品、非常持ち出し袋などだ。そして、けがをせず無事に避難できる準備を常にあること。次に共助の準備は、集落や地域振興協議会とともに、地域の防災マップや支え

荊尾

住宅耐震化の現状把握と今後の対応は、特に高齢者の住宅対策はどうか、また耐震化補助事業の活用を問う。

町長

南部町耐震改修促進計画により進める。高齢の方の住宅改修は、多額の費用がかかるため耐震化対応が困難と考えられるので、費用負担軽減のため低コスト工法による改修を推進する。耐震改修補助制度の震災に強いまちづくり促進事業補助金の活用を広報し周知する。

荊尾

避難所の設置及び運営、備蓄品等々についての喫緊の課題と今後の対応を問う。

町長

南部町が能登半島地震と同規模の災害に見舞われた場合は、被災者を受け入れる避難所数が少ないことが課題だ。場合によっては集落の集会所や

農業対策

Q イネカメムシ被害の対策は

A 県や関係機関と連携し検討する

荊尾

令和5年の米の収穫状況、イネカメムシの被害対策、防除施策を町はどのように講じるのか、またイネカメムシの防除薬剤の効果について町の取組を問う。

町長

昨年のイネカメムシ被害の発生以降、関係者との検討により、出水期の防除が重要である。防除活動への支援は、県と連携し、令和5年度に被害の大きかった水稻・中世品種きぬむすめ、日本晴、みなちからに係る防除委託費に対し、通常

公民館を避難所とすることや広域避難を検討する。備蓄品は備蓄数が災害時に十分に足りるかが課題だ。携帯トイレの備蓄数が少ない。今後は備蓄倉庫の確保を検討する。町民も常に備蓄品の準備など災害への備え等の協力をお願いする

防除しない出水期における防除を行うことで一斉防除し、この費用をかなり増しとみなして補助をする。

防除薬剤の効果は、県試験場や防除所、農業改良普及所等の専門機関に取り組み指導や効果検証を行なってもらい確認する。

第2期なんぶ総合戦略

Q 現状の課題と今後の対策

A 住み続けられる地域をめざす



議員 隆 板井 いたし

背景

第2期総合戦略の三本柱である、①豊かな里を紡ぐ町づくり②豊かな里が心育む町づくり③豊かな里に調和する町づくりを基本として持続可能な町の実現に向けた施策を遂行している。

板井

①魅力ある農業の推進について、フルーツロード構想から問う。

町長

農業を持続可能にするためには、農業所得を向上させる必要がある。フルーツロード構想では、市山周辺を中核とした花回廊を結ぶラインを集客ゾーンとし、フルーツをキーワードに町内全域への誘客を図りたい。

板井

③町民が地域を育てる意識を共有する仕組みづくりにについて問う。

町長

人口減少社会の中で、地域振興協議会のまちづくりはさらに重要となっている。地域それぞれの課題解決に向け、協議会、各集落、行政の三位一体の目線を合わせる取り組みで、いつまでも住み続けられる地域を目指したい。

板井

③町内商工業者の支援について問う。

町長

商工会を窓口に伴走型で相談、支援を行っている。また、町では小規模工事を町内事業者が受注できるよう、令和6年度から、小規模工事の金額の上限を30万円から100万円に引き上げ、町内商工業者の維持発展を進めたいと思っている。

全国コミュニティ・スクール研究大会by南部町

Q 今後の展望と課題について

A まち未来科の充実を図る

板井

②今後のコミュニティ・スクールの展望と課題について問う。

教育長

コミュニティ・スクー
ルを基盤として、地域と共に歩む学校づくりの取り組みがまち未来科である。中学校区学校運営協議会では、義務教育9年間の視点で熟議し、まち未来科では、年長から中3までの10年間のカリキュラムに基づき取り組んでいる。しかし、コロナ禍の活動制限で停滞したが、全国大会を契機として再構築を図っている。

板井

高校生サークル、青年団のコミュニティ・スクールの関係について問う。

教育長

まち未来科で地域の人、物、事で培った力を発揮できる場がある。高校生サークルでは地域貢献活動を体験、

実施しながら、自身の進路選択につなげていくことを目指している。青年団ではさらに学びのステージを上げて、町とより深くつながり、新たな南部町づくりを意識して活動している。児童生徒とまちとの関係の素地を養うのがコミュニティ・スクールで、町との関係を深めて、自分を広げる場が高校生サークル、青年団であると捉えている。

持続可能な地域社会の実現には、人づくりが重要になる。学校においては、義務教育以降につながる、まち未来科の充実を一層図っていく。

緊急通報システム

Q 非課税世帯を無料に

A 多様な意見があるので十分検証する



背景

緊急通報システムは、おおむね65歳以上の一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、身体障がい者の方のみの世帯を対象に、急病、事故等緊急に援助を必要とする場合の迅速な対応で日常生活の不安の解消及び安全の確保を図る事業だ。

米澤

現在、おおむね65歳以上の一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、身体障がい者の方のみの世帯の数を問う。

町長

まず緊急通報システムについて、令和6年度から新しいシステムを導入する予定である。これはみまもりセンサーもしくはキッズフォンからの通報によりあんしんサポート

センターからの確認電話や、駆け付けサービスの手配を行うものを付加したものである。

令和6年1月末時点においては65歳以上の一人暮らしの世帯は614世帯、高齢者のみの世帯は607世帯、また令和6年2月1日時点の身体障がい者の方のみの世帯は60世帯と聞いている。

米澤

緊急通報システムの周知を行い、利用の促進を図るとのことだが、具体的な周知の内容、または方法を問う。

町長

これまで民生委員の方々や地域包括支援センター職員、保健師の訪問を通じて、対象となる世帯に対し緊急通報システムを紹介している。

米澤

このシステムの設置台数の実績について、令和2年度は13台、令和3年度は11台、

令和4年度は9台となっているが、この設置台数について、十分行き届いているのか問う。

町長

通常の見守りは、ご近所でなされることが一般的となっているため、人や地域とつながりにくい方や支援を受けにくい方のために、このシステムが必要だと考えている。したがって設置台数については、必要な方に使っていただいたものと考えている。

米澤

これだけの該当世帯がある中で、緊急通報システムを利用する高齢者の数、これが9台から13台というのは私から考えると少しショックである。このシステムは、高齢者、障がいのある方の日ごろの安心安全な生活にとって、ぜひとも必要なシステムである。

なぜこれだけ設置台数が必要なのか問う。

町長

対面で、民生委員、保健師が訪問して勧めている中での数字だ。実際に本当に全

員に周知できているか確かに疑問は残るが、広報等でも周知している。

米澤

新しいシステムに移行すれば、初期費用、出動料、撤去費など自己負担額が少なくなり、高齢者にとっては歓迎すべきものである。ここまで自己負担をおさえるなら、いっそ全てこのシステムの自己負担をやめてはどうか。それが無理であるなら非課税世帯に対して無料にすべきだ。

町長

非課税世帯について無料化の意見は確かに聞いた。非課税世帯にも多様な世帯がある。このあたりの中で安全を守るということを追求したときに、どのあたりにどうしたらいいのかをさらに追及していく必要があると思う。多様な意見があるので社会福祉協議会の動き等も十分検証しながら安全につなげていきたい。

人権条例

Q 差別の具体的項目など明記すべきでは

A 明記することは考えていない



背景

近年人権に対する世間の目が非常に敏感になっている。著名人であれば影響力は大きく、政治家であればその立場を絶たれかねない。町の条例にはどんなことが差別に相当するのか明記されていない。

長束

進展した現在の社会状況を鑑み、差別の具体的項目や差別をしてはならないと明記すべきではないか。

教育長

明記した場合、どの行為が差別とみなされるのか明確になる一方で、明記されていない形態の差別がカバーしきれない。差別しないことは、家庭教育や義務教育で基本的価値観や行動指針で学んでいるの

で明記することは考えていない。

長束

「障がい」に対し町民へ広報・周知するとともに理解を深めていくためにも「障がい者基本条例」を制定する考えはないか。

教育長

振興区別人権学習会、ミカエル・セミナー他各種教育活動の充実、理解促進に努めている。罰則の制定同様、条例の制定については自治体レベルで行うのではなく国レベルの法律で整備されるべきと考えている。

長束

4月に「改正障害者差別解消法」が施行されるが町はどのような事業、施策をしようとしているのか。

教育長

今年度、新規の事業施策は無いが法律の改正内容を取り扱った振興区別人権学習会、ミカエル・セミナーを企画し、取り組んでいく。

里地里山と農地施策

Q 今後も維持の為にどうするのか

A 景観維持は重要、関係団体と協力し合う

長束

環境省指定後、維持の為に施策の実施は何をしてきたか。全国的な組織化を構築すべきと過去に提案したが、今後の施策はどうしていくのか。

町長

農地では中山間地直接支払い、多面的機能支払交付金などの支援を実施。森林は森林経営計画の策定支援、竹林整備の強化などを推進してきた。

今後は、新しく組織化するよりは既存の山村振興連盟の組織で山村振興法を有効に活用し、全国の市町村と協力し合いながら一つの運動を展開していこうと考えている。

長束

農地保全は農業の担い手が欠かせない。担い手の育成施策はどうするのか。里地里山と併せて地域計画の策定予定はあるのか。

町長

農家の事業継続を推進するよう必要な支援を検討していく。新規参入や異業種参入に対しても広くPRし、担い手の幅を広げていきたい。

地域計画は、集落を単位として10年後の農地の将来像を考え策定を進めている。里地里山保全という視点での考え方は、農林業のみならず、定住対策や生活環境整備、防災等の多様な取り組みを総合的に計画する上で必要と考えている。



会見地区のデイサービス

Q 新たな事業者の誘致が出来ないか

A 非常に難しい



日に聞き取りに行った。

加藤

12月末には閉鎖の話が出ていたが、南部町は知らなかったのか。

町長

12月に南部箕蚊屋広域連合に電話で閉所する旨の相談があったと聞いている。その時点ではいいい荘から出るのではないかと思ったが正式なものではないと判断した。

加藤

会見側にデイサービスがなくなると利用者が不便になる。残すべきだと思うが町としてはどう考えているのか。

町長

いいい荘で長年親しんだデイサービスがなくなるのは寂しいという意見は聞いている。手間山振興協議会と富有の里振興協議会で介護保険事業以外に気軽に集える新たな場所について協議している。協議の進捗

を見守りたい。

加藤

伯耆の国が使っていた場所が空になるのであれば、

町長

南部町として新たな事業者を誘致出来るのではないかと可能性はゼロではないが、非常に難しい。

ひまわり保育園の今後の維持

Q 改修、修繕計画を立てることを求める

A 大規模修繕は負担が大きい

背景

以前の町長の発言にひまわり保育園は現状を維持して行くところ。その一方で、ジェラート屋さんに来ている県外の人からひまわり保育園を指して「あれは？」と尋ねられた人がある。

加藤

ひまわり保育園の改修、修繕計画を立てることを求める。

町長

早急に大規模修繕を行うことは財政的に負担が大きい。現場の声を毎年の修繕予算に活かして対応する。

加藤

保護者や近隣住民からひまわり保育園の改修や修繕すべき点について聞いていないか。

町長

保護者アンケートや市山で施設に対する修繕について意見を貰っている。外観の美観に関しては地域振興協議会から改装を要望する旨の行政要望を頂いている。

加藤

計画が出せないのなら、現在、ひまわり保育園にはどんな部屋があって、過去にどのような修繕を行ってきたのか、今後どのような修繕が必要なのか、全体的に分かるものは出せないか。

町長

各部屋の修繕、園全体の修繕について具体的にどのようにされてきたのか分かるものを作成する。

避難所での対応

Q 体育館に空調設備の設置を

A 6年度スポットクーラーを導入する



かめおか きょうそう
亀尾共三 議員

亀尾 地震、豪雨水害での避難所の対応を問う。

災害の避難所には体育館が多く利用されている。体育館の冷暖房設備の導入については、国

も補助率を三分の一から二分の一に上げており、設置を求める。

町長 町長の指定避難所は23カ所あり、そのうち

体育館を使用している指定避難所は6カ所となっている。農業者

トレーニングセンター以外は、小中学校の体育館だ。体育館の

空調設置については、断熱性の確保、ランニングコスト等を勘

案し、エアコン設置は現在考えていない。

災害発生時の避難所運営については、地震、風水害など被害

状況や収容施設の安全性を判断し、指定避難所を開設することになってきている。できる限り冷暖房施設が整った指定避難所を開設する考えだ。

来年度予算では、各小・中学校の体育館にスポットクーラーを設置する予定だ。

亀尾 冷房装置は各教室にあるが体育館にはなく、夏場

は温度が上がって大変だ。今後とも空調設備の導入を研究されることが必要ではないか。

教育長 今後、補助金等については当然研究していきたい。また、体育館が危険な場所であってはいけない。教育活

動なので責任をもって学校の方でやっていきたい。スポットクーラーの設置を考えている。冷たい風にあたるということです

いぶん効果もあると思う。

学校給食の無償化

Q 南部町でも実施を

A 今年度から第3子は無償

亀尾 東京都は、今年度から23区すべてで予算化を進めている。青森県は、全県での学校給食の無償化を決定している。

県内の周辺自治体でも進んでいる。南部町でも学校給食の無償化を実施することを求める。また、県に対し、学校給食の無償化のための予算化を求める。

教育長 本町では、合併当初より、法に基づき、学校給食に必要な施設の経費や人件費は町の負担とし、学校給食の原材料による経費のみ保護者に負担いただいている。これまで、消費税率の改定、食材の高騰などについては、町負担の増加等で、保護者負担を上げることなく運営してきた。

経済的な理由で給食費の支払いに困る世帯については、その費用について援助を受けられる就学援助制度を設けている。こ

の制度を利用されている世帯には給食費の実費を学期ごとに支給している。この制度が確実に利用できるよう一層の周知に努めたい。

また、今年度から、町の子育て支援策として、町立小中学校に在学している児童生徒を3人以上養育している保護者について、第三子以降の児童生徒の給食費を全額町の負担とすることにした。

県への予算要望については、国の責任において全国一律の子育て支援策で行われるべきと考えており、求めることはしない。

林業による活性化

Q 林業施策の拡充を

A 保育間伐の補助を実施したい



さこだ みつお
議員 谷田光雄



谷田

里地里山の保全を問う。

町長

森林と農地の一体的な保全を図ることがまず重要

と考えている。森林の整備、管理は所有者の関心の薄れや、林業従事者の減少で管理の行き届かない森林が増えていることが大きな課題となっている。農地の保全は農業従事者の高齢化や継承者不足が重要課題であり、耕作放棄地の増加を懸念している。交付金を活用し地域が一体となり農地の保全ができるよう支援していく。

谷田

林業家の募集について問う。

町長

現状では、林業施策に関する具体的な人材誘致の

検討等には至っていない。しかし今後の林業施策を展望する上では、専門的な技能を持っている人材は重要と考えている。

他市町村の取り組みや林業関係者の意見も聞きながら受入れ環境の整備も含め検討したい。

林業経営の集積、集約化の取組が重要と認識している。これまで以上に森林経営計画策定の推進を行う。

谷田

林業施策の拡充を問う。

町長

令和6年度から保育間伐に対する補助も実施したいと考えており、適切な管理により、将来の利用木材の価値を高めたいと考えている。

移住も含めた若者たちが林業に取り組むことに対して総合的な再検討に取り組みたい。



ヒノキの間伐

人口減少対策

Q 集落機能維持の対策は

A 地域振興協議会、各集落、行政で議論していく



背景

国立社会保障・人口問題研究所が日本の地域別将来推計人口を公表した。これは、令和2年の国勢調査を基に令和32年までの5年後と30年間にについて男女5歳階級別に推計したもの。

仲田

本町で、少子高齢化が進むと集落機能が維持できなくなる。その対策はあるのか。

町長

この公表資料の中で2050年南部町の人口は6378人で、2020年の国勢調査から38.2%減少する推計人口となっている。町としては、集落維持についての即効性のある対応策は現段階では持ち合わせていない。

仲田

集落維持の対策は。

町長

令和6年度は7つの地域振興協議会、各集落、行政の三位一体の目線を合わせる取り組みを行いながら地域のありべき姿を議論していきたいと考えている。

仲田

地域振興協議会役員のなり手不足のための解消策はあるのか。

町長

人口減少や働き方改革、定年延長なども影響していると推察している。定期的に行われる地域振興協議会連絡会などを通じて、解消に向けた議論に努めたい。

仲田

人口減少対策として、一過性ではあるが、新たな企業を誘致するとか、あるいは今ある町内企業に規模拡大してもらい、少しでも人口増加に取り組んではどうか。

地域防災

Q 防災備蓄倉庫の増設

A 複数の場所に分散保管したい

町長

町内の誘致企業18社の令和5年4月時点の雇用者の総数は1492人でうち町内からの雇用数は327人、外国人雇用者数は78人となっている。今後の人口減少対策として、企

仲田

防災備蓄倉庫を災害になりやすいところに設置して、災害時にすぐに災害の初動対応ができるので設置できないか。

町長

町が保有する災害備品を西伯郵便局横の倉庫に保管しており、当町が被災した場合ももとより県内外で災害が発生した場合において災害備蓄品を提供している。現在、災害備蓄品の保管は1ヶ所に集約しているが、災害時等に備蓄品の搬送に時間がかかる恐れがあることや、保管場所の倒壊により備蓄品が搬出できないおそれがある

業事業所が地域や集落に関わることは町として非常に重要だと考えている。引き続き企業誘致も積極的に行い、町内企業の規模拡大についても支援策を含め相談や対応を緊密に行いたい。

町長

り、町内に複数の場所に分散保管する必要があると認識している。

仲田

避難所について自治体間の連携が図られるのか。

町長

これまで、西部7町村合同での避難所開設訓練を実施し、令和4年度には地震発生を想定して大木屋集落の方が日南町菅沢地区に避難する訓練を実施した。実際の訓練を通して他町に避難する上での課題が分かったので課題解決に向けた取り組みを進めたい。

保育園運営費

Q 公立・私立の財源比較は正確ではない

A 試算はできるが大きな混乱を起こさないことが大事



真壁

町は、町立保育園の民間移管の最大の理由を「運営費においては、私立には補助があるが公立には補助がなく普通交付税措置であることから、財源の明確化、町負担の軽減」と説明してきた。昨年9月議会で、私立、公立の財源比較をしているが、公定価格と地方交付税で比較対象児童数に違いがあり、正確な比較といい難い。訂正を求める。

また、総務省の見解では再三、公私に差がつかないよう交付税算定されていると明言している。再度の説明を求める。

町長

訂正を求められている資料は、令和5年7月31日に開催した第47回行政財政運営審

議会において提出した資料が基

になっている。園児数の違いの

指摘だが、同じ園児数で算定し

ても傾向としては同じになり、

としては同じになり、これまでの

資料の判断に影響を与えるもの

ではないと判断した。ご指摘

の方法で資料を作成したが、訂

正の考えはない。

議員指摘の地方交付税と施設

給付費で算定の基の園児数が違

うということ、新たに交付税

と同じ考え方で試算したものを

資料に示した。

真壁

大前提が崩れたら比較にならないので、同じ児童

数で計算しなおしてもらった。

これまで私立では町負担が約3

300万円であったのが、約4

572万円と約1200万円多

くなった。公立では約8600

万円の負担でその差が約500

0万円といていたのが不正確

で、1200万円の差が出てき

たということだ。認めるか。

町長

あながち間違いだと指摘されることはないと思っ

真壁

町が比較をしたことだ。費用の差を比較するには、

当然条件を同じにするのが当たり

前だ。そういうところが不誠

実だ。町民や議会に数字の訂正

を説明する責任がある。

次に、需要額が4園で1億2

300万円というのはどうして

出したのか。国のルールでは、

(町提出資料)計算すると社会

福祉費に約4億円の需要額とし

ているのは認めるか。

町長

ルール上そのようになっていると認識している。

真壁

町は、保育園の需要費は1億2300万円として

いる。どう計算したのか。

町長

総務省が示している10万人規模が大前提となって

いる。該当の児童福祉費の保育園に係る運営経費の歳出と歳入の比で算出している。それが64%となっておりその結果が、単位当たりの費用としては8670円と計算している。

真壁

本町には、保育園の費用で国庫負担が64%も来て

いない。町にきている社会福祉

費約4億円をどう割り振りして

いるか示してほしい。

町長

社会福祉費の内訳と特定財源の実績は出せると思

うが若干時間がほしい。

真壁

民間移管の最大の理由であり、きちんと説明すべ

きだ。数字が違った場合は住民

にきちんと説明ができるか。

町長

試算はできるがその結果について大きな混乱を起

こさないことが大事だ。

保育園の建設場所

Q 建設予定地は安全か

A 今後の調査による



滝山 統合予定保育園の建設予定地は県が公表する土砂

災害警戒区域に入っているようだが安全といえるか。また、溪流調査とは何の調査か。

町長 影響線の末端が、建設予定地の中に一部入っていることから地形上影響がないことを確認する調査である。また、

予定地周辺で見落とされた溪流がないか調査確認を再度行う予定だ。

滝山 県の調査での判定はどうだったのか。

町長 建設予定地の東方300mに土砂災害特別警戒区域（レッド）になっているが、それ以外の扇状の区域は土砂災

害警戒区域（イエロー）になっている。

この末端部分の一部が建設予定地に入っているが造成予定地の法面の下、数メートル下の部分で約24センチの高さの影響があるか再度これを調査する。

滝山 1ヘクタール以上の造成となり農地からの形状変更により降雨時の排水量に変化

が出ると思うが現状の排水路で処理できるか。

町長 何らかの影響は出ると想定しているが調査結果により対応策が違ってくると思う。

町道管理

Q 路面以外の草木の管理

A 現在の制度を活用したい

滝山 高所から落下してきた雑木等が衝突した時の管理者責任は。

町長 個人所有地から生えている竹木等はその所有者に所有権があるため、道路に枝木が張り出している場合であっても基本的には町で伐採することはできないと考えている。樹木の所有者は、落下の恐れがあるものは剪定する義務がある。こ

れを怠ると、そのために発生した事故等について、その所有者が責任を問われる場合があるという風に聞いている。道路管理者も安全性を確保するためパトロールを行い安全確保に努めている。町道敷地内の樹木については、パトロール等により支障になりそうなものは予防的に伐採し対応している。



線内土砂災害警戒区域

※写真より書き起こしていますので図面は正確なものではありません。

2040年問題

Q 今後の人口減少対策は

A 子ども真ん中政策を強化する



ほそだ もとあき 議員 細田元教

細田 今から早速出来る施策を問う。

町長 国も県も人口減少施策に力を入れており、我が町でもこれまでの施策を再点検し南部町の子ども真ん中施策を強化する。

細田 人口減少の中、町民の生活を守る施策を問う。

町長 町民の生活を守る上で、医療、福祉、交通、買物などについて、町民と共に作っていききたい。

細田 第二次総合戦略の折り返し点である。そこにはデジタルが入っていなかった、今後デジタルの具体的な施策を問う。

町長 LINEを住民とつながるツールとして活用できる「テノヒラ役場」、デジタル

リーダーの活動支援」、交通では「Aーデマンドバスシステムの導入」、買物では「たすかーどの運用」と「行政ポイントの導入」などで、役場職員の働き方を変え、リモートワーク環境を整備し、地域に出かける職員の実現を加速する。今後さらにデジタル技術を活用し、住民の利便性を向上させるため重点的に取り組む。

細田 人口減少のなか、今後医療介護の問題が大事になる、その施策を問う。

病院事業管理者 医療と介護ニーズが増加する中で、地域包括ケアシステムを支える医療機関として、地域密着型多機能病院を病院内

に整え又在宅医療支援病院を活用し、地域包括ケア病床を増床し町民の皆さんに安心を提供出来る病院にして行く。

細田 子育てと教育支援の今後について問う。

町長 本町の子育て支援施策は、評価いただいている。今後子育て包括支援セン

ターを中心に町が各部署と連携しながら、きめ細やかな対策をして行く。

教育長 県内で初めて制定した教育の日条例で10月、

11月を町教育月間と定めている。この月を中心に、教育は人づくり、町づくりの施策を集中して10年20年後の屋台骨を支える人づくりに努めます。



イメージイラスト



(QRコード)

QRコードの読み取り方

各議員の一般質問のページの顔写真の下にQRコードを入れています。スマホかタブレットで読み取りをすると各議員の6月議会での一般質問を映像で見ることが出来ます。

Androidスマートフォン

① ホーム画面



① **カメラ・ビデオ**をタップする。

② カメラ起動



② カメラを起動し、枠の中心になるよう**QRコード**をかざすと、自動で読み込みます。

③ 読み込み



QRコードを読み取ると、**青い文字**で表示されます。



③ 読み取り結果(**青い文字**)をタップすると、読み込みます。

Android

① ホーム画面



① **カメラアプリ**をタップしてカメラを起動する。

② カメラ起動



② **QRコード**に近づけると自動で読み込み、**認識した文字**が表示されます。

③ 読み込み



③ 認識した文字をタップすると、読み込みます。

議会活動日誌

1月

日	曜日	会議・行事
7	日	南部町消防出初式 南部町二十歳の集い
10	水	令和6年度町政に対する要望会
17	水	広報常任委員会①
23	火	鳥取県町村議会議長会 役員会
24	水	広報常任委員会②
30	火	鳥取県西部広域行政管理組合議会臨時会
31	火	広報常任委員会③

2月

日	曜日	会議・行事
2	金	南部箕蚊屋広域連合議会運営委員会
9	金	鳥取県後期高齢者医療広域連合議会定例会
13	火	南部町・伯耆町清掃施設管理組合議会定例会
15	木	令和6年度町政に対する要望回答会
16	金	鳥取県町村議会議長会定期総会
19	月	議会運営委員会
20	火	南部箕蚊屋広域連合議会定例会
21	水	鳥取県西部広域行政管理組合議会定例会

22	木	第9期介護保険事業計画 オンライン説明会
29	木	全員協議会 議会改革調査特別委員会

3月

日	曜日	会議・行事
6	水	議会運営委員会 全員協議会 本会議
7	木	本会議
8	金	町立中学校卒業式
11	月	一般質問
12	火	一般質問
13	水	一般質問 常任委員会
14	木	常任委員会
15	金	常任委員会
18	月	常任委員会
19	火	町立小学校卒業式 常任委員会
21	木	常任委員会
22	金	常任委員会
26	火	常任委員会 全員協議会
27	水	議会運営委員会
28	木	全員協議会
29	金	広報常任委員会① 本会議 鳥取県西部町村議会議長会連絡会

鳥取県町村議会議長会

自治功労者表彰

全国町村議会議長会表彰(町村議会議員として15年以上在職し功労のあった者)

副議長 板井 隆

第31回鳥取県町村議会 広報コンクール表彰

部門賞 最優秀写真賞

なんぶ議会だより第73号

南部町議会



白川議員(左) 景山議長(中) 板井副議長(右)

あとがき

「なんぶ議会だより」第73号が第31回鳥取県町村議会広報コンクールで最優秀写真賞を受賞しました。

南部町議会初めての受賞になります。

企画提案は白川議員、取材は白川議員と埤田議員で「挑戦者たち」の取材で撮影したものです。

写真撮影は当日、白川議員が挑戦(者)しましたが、最終的には一緒に練習をされている人をお願いした。

これから先、表紙の写真を選ぶのにプレッシャーがかかりますが、毎回100点満点は取れないので肩に力を入れないようにしたいです。

広報常任委員会

委員長

副委員長

委員

加藤 学
埤田 光雄
景山 浩
板井 隆
白川 立真
長束 博信
仲田 司朗
荊尾 芳之

本格スパイス バターチキンカレー 「+met」タスメット 開店です



マスター
えんどう かざね
遠藤 楓音 さん

Q 「てま里」でカフェを始めようと思ったきっかけは

A 米子にあるカフェで2年間修行してきました。また、様々な地域イベントに参加することで、私の顔や味そしてお店の名を知ってもらうチャンスだと思いました。昨年、小学生を対象とした夏休みブルーベリー狩りがあり、いこい荘で開催されたブルーベリースイーツづくりの講師として参加した際、てま里のカフェエリアが今後空く予定だと知り、「これだ」と思い飛びこみました。

Q メインメニューはなんですか

A やっぱりバターチキンカレーです。濃縮されたトマトの旨味、厳選した10種のスパイスは隠し味、芳醇なバターとクリームが絡み合いコクたっぷりで贅沢な味わいを楽しめるバターチキンカレーに仕上げています。ぜひ皆さんに味わってみたいです。

プロフィール

県立米子南高等学校・家庭学科調理コース卒業。休日の楽しみは、4歳の息子と外遊びや旅行にでかけること。店名の「+met」は、meetの過去形で、これまでどんな出会いもプラスの出会いだったことから、多くの出会いを大切にしたいという願いがこもっている。



▲あまくまろやかな味ですよ



▲できたてバターチキンカレー

問い合わせ

住所 南部町天萬897（「てま里」の中）
問い合わせ先 090-7256-8869



◀ 営業日時はこちらからご確認ください。

@TASU_MET Instagram